

- ④ 各種学級等における「ちいさな世界」放送利用を促進する。
- ⑤ 対象者による「はがき通信」の輪読、「ちいさな世界」視聴グループの育成を図る。
- ⑥ 家庭教育に関する個別相談を、公民館等の事業として開設するようすすめる。

## 2 家庭教育研究集会

### (1) 目的

家庭教育に関する学習の機会を拡充し、効果的な学習を行うための具体的な方策について研究協議を行い地域における家庭教育の振興を図る。

### (2) 主催

福島県教育委員会、白河市教育委員会

### (3) 期日、会場、参加者

- ① 期日 昭和53年6月5日(月)
- ② 会場 白河市中心中央公民館
- ③ 参加者 260名

### (4) 参加対象

- ① 市町村教育委員会、公民館等の家庭教育担当者
- ② 小・中学校、幼稚園、保育所等の家庭教育関係者
- ③ 家庭教育学級、乳幼児学級運営委員及び学級生代表等

### (5) 講師

福島大学教育学部教授 菊池章夫

### (6) 助言者

県教育庁社会教育課員  
 県教育庁県南教育事務所社会教育主事  
 白河市教育委員会事務局職員

### (7) 研究内容及び方法

- ① 研究主題  
 家庭教育学級、乳幼児学級の充実と発展をめざして
- ② 講義  
 家庭教育を考える
- ③ 分科会  
 第1分科会協議題  
 学習内容を精選し、身につく学習をすすめるにはどのようにしたらよいか  
 第2分科会協議題  
 放送・映画・録音教材等を利用するなど、学習方法を改善し、身につく学習をすすめるにはどのようにしたらよいか  
 第3分科会協議題  
 乳幼児学級を充実するために、企画運営をどのように改善したらよいか  
 第4分科会協議題  
 家庭教育を振興するための行政施策はどのようにしたらよいか

## 3 家庭教育（幼児期）相談事業

### (1) 趣旨

幼児期の教育が人間形成のうえで極めて重要であることから、幼児を持つ親を対象に、家庭教育上の具体的な問題をとりあげ、これが解決に必要な情報を提供するほか、相

談指導を行い、幼児期における家庭教育の振興を図る。

### (2) 実施主体

福島県教育委員会

### (3) 協力機関

市町村教育委員会

### (4) 実施期間

昭和53年5月～昭和54年3月

### (5) 対象

県内の3歳児を第1子に持つ親 22,700名

### (6) 事業の内容

- ① はがき、ちらしによる相談指導（年間9回）
- ② 巡回による相談指導（県内26会場）
- ③ テレビ放送利用による相談指導（年間29回 9月～3月 毎週日曜日午前9時30分～45分 カラー15分間 再放送毎週月曜日午前10時～10時15分）

### (7) 各種委員会

- ① 企画運営委員会
  - ア 本事業の企画運営を適切に推進するため、企画運営委員会を設置する。
  - イ 企画運営委員会は、本事業全般の企画運営並びに、はがき通信、巡回相談に関する方針や要項、テレビ放送による相談指導に関する方針や実施要項を策定する。
  - ウ 企画運営委員

氏名	役職名
堀口 知 明	福島大学教育学部教授
工藤 正 悟	〃
菊池 章 夫	〃
庄司 他人男	〃 助教授
大原 徳 明	福島県立医科大学教授
須永 秀 子	福島市立福島第二幼稚園主任教諭
見野 晴 美	主 婦
辺見 正 治	福島市教育委員会教育長
塚原 喜 智	福島テレビ報道制作局長
小林 秀 資	福島県保健環境部公衆衛生課長
渡辺 忠 男	福島県生活福祉部児童家庭課長

- ② はがき通信指導班委員会
  - ア はがき通信による指導を行うため、はがき通信指導班を設置する。
  - イ はがき通信指導班は、はがき並びにちらしによる通信指導の企画運営にあたる。
  - ウ はがき通信指導班委員

氏名	役職名
工藤 正 悟	福島大学教育学部教授
関口 はつ江	郡山女子大学短期大学部助教授
都 通 彦	福島県立医科大学助教授
山脇 道 子	福島市立東浜保育所長
遠藤 愛 子	元福島市立飯坂幼稚園主任教諭

- ③ 巡回相談指導班委員会
  - ア 巡回による相談指導を行うため、巡回相談指導班を設置する。